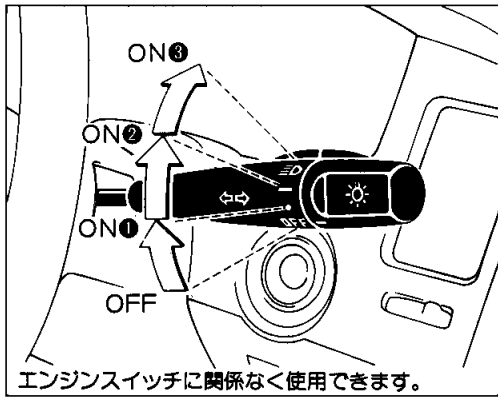


④8 スイッチの使い方

ライトスイッチ	48
方向指示レバー	50
ワイパー & ウォッシャースイッチ	51
リヤウィンドウデフォグ(曇り取り)スイッチ	52
フォグランプスイッチ	53
非常点滅灯スイッチ	53

スイッチの使い方



ライトスイッチ

ツマミを回すとON②、ON③の位置でランプ類が点灯します。詳しくは、次表の「ツマミの位置と灯火の関係」を参照してください。



注意!

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯しないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

▶ ツマミの位置と灯火の関係

〈OFFからON③に回すとき〉

ツマミの位置	ヘッドランプ	車幅灯/ 尾灯/ 番号灯/ 計器照明灯
OFF		消灯 消灯
ON① ●		消灯 消灯
ON② —		消灯 点灯
ON③ ≡D		点灯 点灯

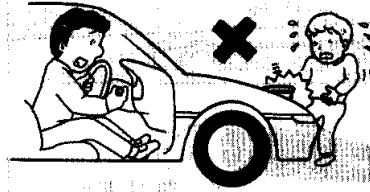
〈ON③からOFFに回すとき〉

ツマミの位置	ヘッドランプ	車幅灯/ 尾灯/ 番号灯/ 計器照明灯
ON③ ≡D		点灯 点灯
ON② —		消灯 点灯
ON① ●		消灯 消灯
OFF		消灯 消灯



注意!

ライトスイッチを操作するときは、ヘッドランプ付近に人がいないことを確かめてから操作してください。ヘッドランプが起き上がり、下がったりするときに手をはさむおそれがあります。



▶寒冷地などでヘッドランプ昇降装置が凍結するおそれがある場合または凍結したときは

1. 走行時に支障のないようライトスイッチを●の位置にしてレバーを手前に引き、ヘッドランプを起こしておきます。
2. 昇降装置が凍結してヘッドランプが下がらないときは、氷が溶けてからライトスイッチをOFFにしてヘッドランプを格納してください。

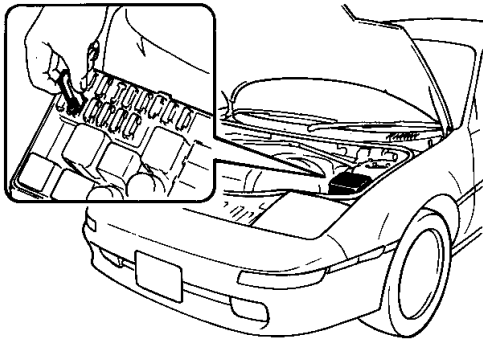


注意!

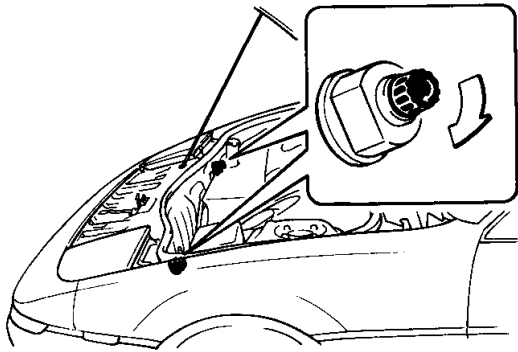
寒冷地などで、ヘッドランプが起き上がったまま（または格納状態）のときに昇降装置が凍結し、作動しないときは、スイッチを操作する前に必ず氷を溶かしてください。凍結した状態のままスイッチ操作を何度も繰り返すとバッテリーあがりを起こすおそれがあります。

▶ライトスイッチを☺Dにしてもヘッドランプが起き上がらないとき、またはOFFにしても下がらないときは

1. ライトスイッチをOFFにします。
2. フロントトランク内左側にあるヒューズ（リトラ〔30A〕）をはずします。（105ページの「ヒューズの受け持つ装置」を参照してください。）



3. 下図の位置にあるモーター部の赤色のツマミを回すとヘッドランプが起き上がるか、または下がります。なお、ツマミを図の反対方向に回すことは絶対にやめてください。



4. 2. ではずしたヒューズを取りつけます。



ちよつと一言

ヒューズは必ずはずしてください。はずさないで次の作業をすると、電源がはいったりヘッドランプが急に起き上がったりが下がりたりすることがあるため、手などをはさむおそれがあります。

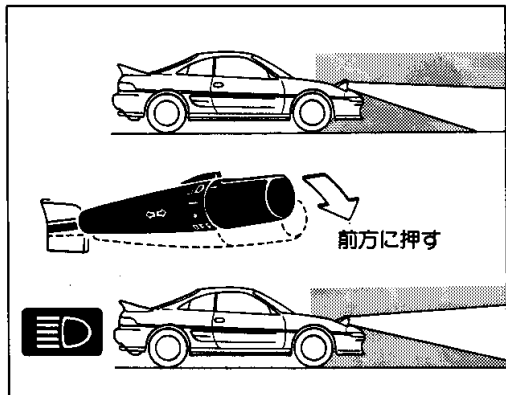


ちよつと一言

1. ヘッドランプを下げたときに車体のラインと平行になれば正しい格納状態です。
2. ヘッドランプを上げたときは、一度ライトスイッチを☺Dの位置にして点灯することを確認してください。
3. ライトスイッチを操作したときヘッドランプが正常に作動しない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

50 スイッチの使い方

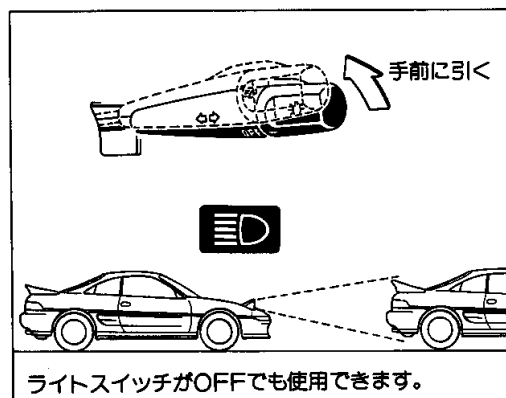
ライトスイッチ/方向指示レバー



■ヘッドランプの上下切り替えと追いこし合図のしかた

▶ヘッドランプの上下切り替え

1. レバーを前方に動かすとヘッドランプが上向きになります。
2. ヘッドランプが上向きときは、計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



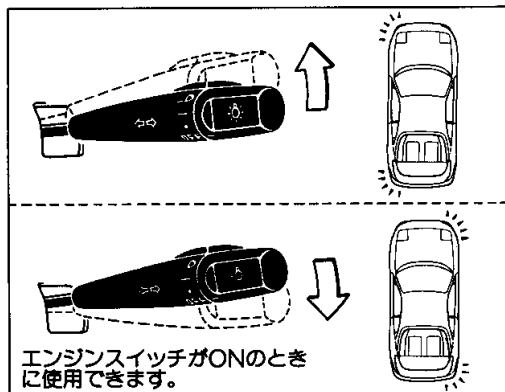
▶追いこし合図のしかた

1. レバーを手前に引いている間、ヘッドランプが起き上がり点灯します。このとき同時に、計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。
2. レバーから手を離すと、約2秒後にヘッドランプは自動的に格納されます。

■ランプ消し忘れ警告ブザー

GT、GT-S、G-LIMITED

車幅灯が点灯したまま、エンジンスイッチをLOCKの位置にして運転席ドアを開くと、ブザーが鳴りランプ類の消し忘れを警告します。



方向指示レバー

1. レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯および計器内の方向指示灯表示灯が点滅します。
2. レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。
3. 車線変更などのときには、レバーを軽く上または、下へ操作している間、それぞれの方向指示灯および方向指示灯表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

ワイパー & ウォッシャースイッチ



- 注意**
1. 凍結などでワイパーゴムがガラスに張りついたまま作動させないでください。ガラスに張りついたまま作動させるとワイパーゴムを損傷するおそれがあります。凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張りついていないことを確認してください。
 2. ガラスが乾いているときにワイパーを作動させないでください。ガラスを傷つけるおそれがあります。必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。
 3. 寒冷時は、ウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。
 4. ウォッシャー液が出ないとき、長時間そのまま作動させないでください。ポンプが故障するおそれがあります。



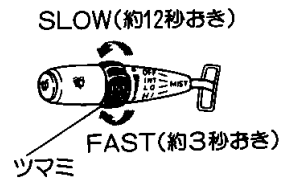
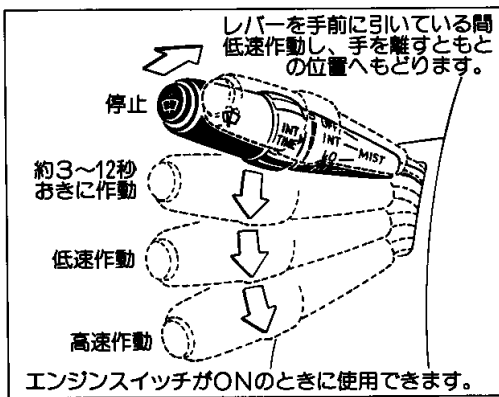
ちょっと一言

- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。その場合は、一度ワイパースイッチをOFFにし、10分ほどして再度スイッチをONにしてください。
- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをACまたはLOCKの位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。

スイッチの使い方

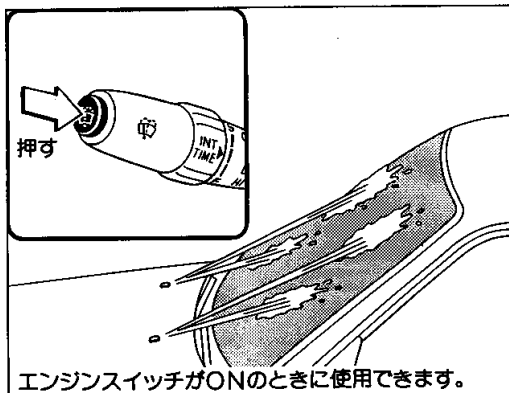
■ワイパーの使い方

1. レバーを図のように操作するとワイパーが作動します。
2. INT TIMEのつまみを右図のように操作すると、間けつ時間（作動から次の作動までの停止時間）を約3～12秒の間で調整できます。



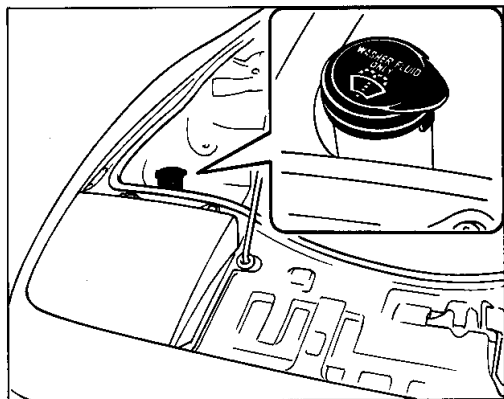
■ウォッシャー液の噴射方法

レバー先端についているスイッチを押している間ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。スイッチを離すと数回作動し、停止します。



⑤2 スイッチの使い方

ワイパー & ウォッシャースイッチ/リヤウインドウデフォグー(曇り取り)スイッチ

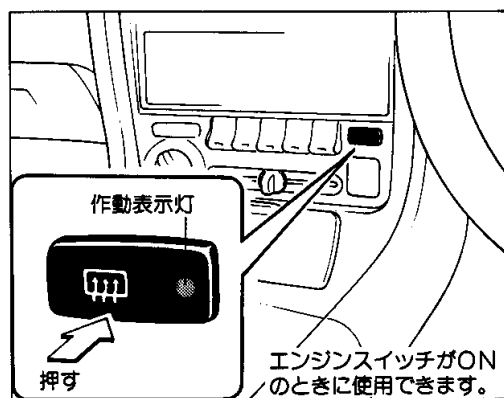


▶ウォッシャータンクの位置

フロントトランク右側前部に取りつけてあります。



ウォッシャー液のかわりに石けん水などをいれないでください。塗装のしみになるおそれがあります。
注意!



スイッチの使い方

リヤウインドウデフォグー(曇り取り)スイッチ

リヤウインドウガラスが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りを取ります。

1. スイッチを押すと作動し、作動表示灯が点灯します。
2. スイッチをもう一度押すと停止します。



連続して使用することは、できるだけ避けてください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。
注意!



ちょっと一言

1. 曇り取り以外には使用しないでください。雨水の乾燥や雪などを溶かすことはできません。
2. リヤウインドウガラスの曇りが消えたら、スイッチは必ず切ってください。スイッチをいれたままにしておくと、バッテリーあがりの原因になります。
3. 熱線入りガラス(内側)の清掃は、湿った布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは使用しないでください。

フォグランプスイッチ

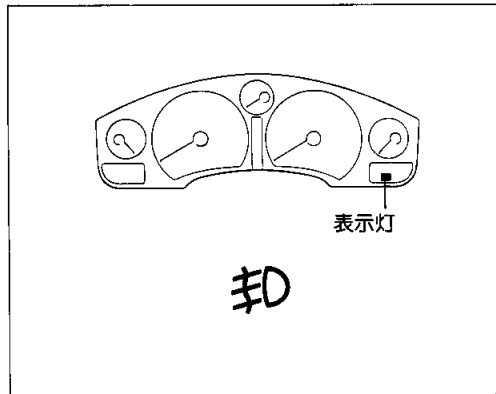
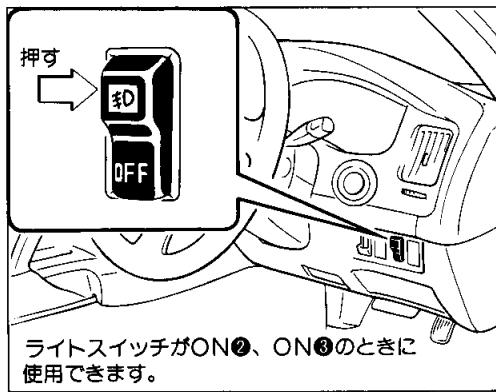
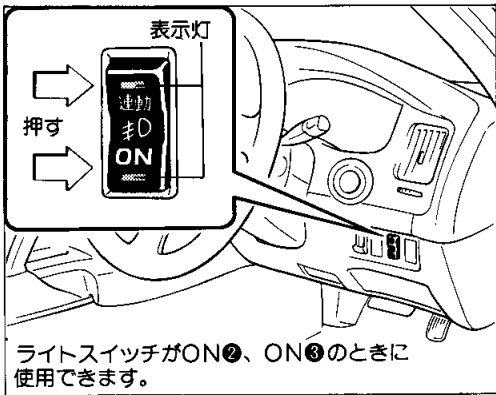
■使い方

GT

1. スイッチを押すと、フォグランプが点灯し、表示灯が点灯します。
2. スイッチの上側を押すと、フォグランプはステアリングに連動して回す方向に照射範囲をひろげます。
3. スイッチの下側を押すと、通常のフォグランプとして使用できます。
4. フォグランプを消すときは反対側を軽く押します。

GT-S、G-LIMITED、G

スイッチの上側を押すと点灯し、下側を押すと消灯します。

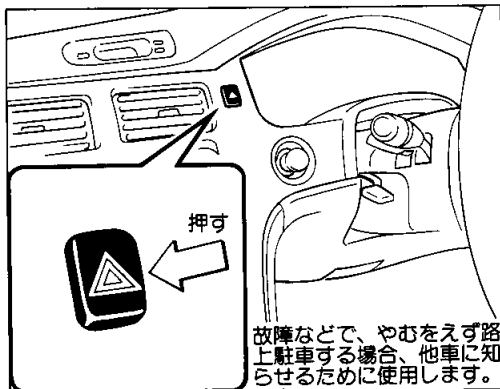


■表示灯

フォグランプが点灯すると、点灯します。

非常点滅灯スイッチ

1. スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。このとき同時に計器内にある方向指示灯表示灯も点滅します。



1. 完全充電状態のバッテリーでも長時間使用すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

ちよつと一言 2. 走行中、異常がないのに使用すると、他車の誤解を招き危険です。